

会派視察・研修報告書

会派名 市民ネットワーク

代表者名 井上あけみ

1 日 に ち	令和2年11月4日（水） 13:00～15:00
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	オンライン連続セミナー第3回 コンパクトなまちづくりと公共交通 Zoom ウェビナー 自宅研修 講師：田中信一郎さん
3 参 加 者	井上あけみ
4 調 査 内 容 研 修 内 容	コンパクトシティを成功させるためのまちづくりと公共交通の役割について
5 所感、主な内容、提 言事項、課題等	田中信一郎氏は元長野県職員、国会議員政策担当秘書、千葉商科大学基盤教育機構准教授。国、県、市の政策企画の調査、アドバイザー多数。 歴史始まって以来の人口減少で、地域経済も縮小する中、地域の人々の所得（需要力）を高める必要がある。の導入から始まった。 そのような状況でどこに行くにも車が必要な街か、大体のところへ歩いて行ける街・・・過密でもなく過疎でもなくクルマに依存しない町は、実現できるのか？ がテーマだ。 ショートウェイシティ・・・実現するには ①移動距離の短い街 ②基本は建物の用途を含めた土地利用のコントロール ③適切な移動手段（徒歩、自転車、公共交通、マイカー）を選択できる交通システムを構築する ④マイカーを不便にし他の交通手段を便利にする など つまり、例えばマンション等を建てる時、1階を店舗、カフェなど商業施設にする。家の前に駐車場を作らず、集合駐車場にする。 （ブーイングが起きそう） 多治見市が提唱するコンパクトシティの中核として、本庁舎の建設が駅北側だとするなら、市民にとって有益な公共交通政策が必要である。それは駐車場整備のみでなく、利用しやすい公共交通政策の研究検討が必須である。それこそが市民が納得できる条件となると考える。